



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

＼デジタル技術の活用とデジタル田園都市国家構想に係る
取組の推進を目指して／

令和5年度第1回 大船渡市デジタル創生研究 プロジェクト・チーム会議

4/21(金) 10:30～



／ 次 第 ／

1 開 会

2 内 容

(1)令和5年度の取組概要について

(2)グループワーク／LINE活用モデル（案）検討、庁内横断のアナログ改革（案）検討、市役所日直DX、生成系AIの活用検討

(4)その他

▶次回会議予定 5/26(金)10:00～@地階大会議室

3 閉 会

プロジェクト・チームが目指すところ①／当市行政経営のスキームとの関わり

- ・行政改革、行政評価、事務事業等の見直しといった、現在、全庁を挙げて取り組んでいるツールを基に、**次年度行政経営方針**を策定。
- ・方針を踏まえ、**総合計画実施計画**や**次年度当初予算編成方針**を策定。
- ・これと並行し、**職員視点でのトランスフォーメーション（変革,X）の習慣化**を図るため、**職員提案**や**業務改善**などの取組を継続。

＼おおふなと版 行政経営システム／

行政改革

- ・大船渡市行政改革大綱・行政改革実施計画により、限られた経営資源の有効活用と、健全財政の堅持を着実に推進

行政評価

- ・施策・基本事業、事務事業の達成状況や有効性、効率性等を検証しながら、不断の見直し

事務事業等の見直し

- ・見直しが必要とした案件について、市行政経営推進会議でその進捗を徹底管理
- ・事業実施の優先度が低下した事業等の掘り起こしを行い、見直しの方向性や具体的な取組を整理

〔次年度行政経営方針の策定〕

総合計画実施計画（3ヶ年）

- ・行政経営方針を踏まえ、総合計画実施計画を策定

次年度当初予算編成方針

- ・行政経営方針を踏まえ、次年度当初予算編成方針を策定

職員視点でのトランスフォーメーション

- ・職員の働き方改革の推進と職員提案・業務改善を生み出しやすい組織風土づくり
- ・トランスフォーメーションによる市役所全体の生産性と、職員のウェルビーイングの向上

＼システムの理念／

- ▶ **トランスフォーメーション**（変革、変化）を促す環境づくりのためのシステム！
- ▶ 常に**アップデート**を繰り返す、**目標達成**のためのシステム！

〔現状〕

- ・職員間で“X”の必要性は認識されつつあるものの、第1歩を踏み出す組織風土や“X”を具現化させるための手段が未成熟。

職員視点でのトランスフォーメーション実践

- ・なぜ？社会の変容スピードが旧来の行政手法では対応できなくなっている！
- ・“X”のトライ＆エラーを繰り返し、組織全体に広く拡散➡職員視点での“X”の実践～習慣化まで展開！

「我々は**何**を目指すのか？」



裕福さを求める社会から**幸福**を目指す社会
への転換と対応～well-beingの向上～



デジタルの力で市民・事業者

・市役所の**幸福度** 

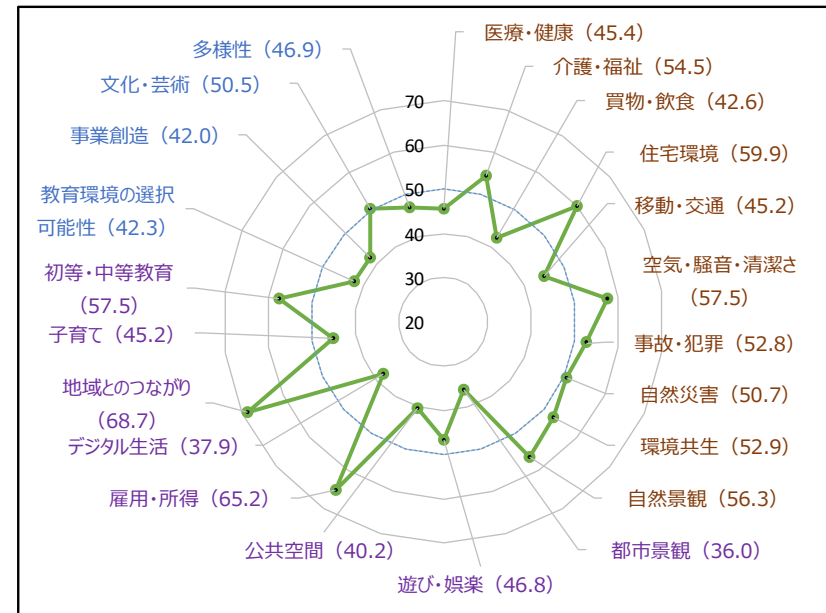
～課題解決と魅力向上の取組を加速化～

行政DXにより…

- ・余力時間を作り出し、本来行政が行うべき業務に充てる！
- ➡生み出される新たな価値：**デジタル化による生産性の向上**
- ➡創出されたリソースは、相談業務や政策立案、“稼ぐ”施策など、**付加価値を高める取組**に投資
- ➡縮小社会に見合った職員数を前提とした運営



▼当市well-being指標_デジタル庁が客観指標をDB化



▼プロジェクト・チーム会議で提案・紹介のあったキャッチフレーズ

行くぜDX。

し D そ
よ X う
う。 だ

～DXは 旅 と呼ぶのにふさわしい～
(ジャーニー)

業務改革はドラマだ！

続けることで「DX」となる
(北海道北見市)

DXが止まらない
(静岡県浜松市)

DXにほえろ！
DXでやろうぜ！

令和5年度デジタル創生研究プロジェクト・チーム会議の開催予定

- ・今年度の**プロジェクト・チーム**の**開催日程**は次のとおり。

	日程	開始時刻	場所
第1回	4/21（金）	10:30	議員控室
第2回	5/26（金）	10:00	地階大会議室
第3回	6/19（金）	13:30	地階大会議室
第4回	7/21（金）	10:00	地階大会議室
第5回	8/18（金）	10:00	議員控室
第6回	9/29（金）	10:00	地階大会議室
第7回	10/20（金）	10:00	議員控室
第8回	11/24（金）	10:00	第1会議室
第9回	12/21（木）	13:30	地階大会議室

- ・**先進地視察**として、**関東エリア（8人×2か所）**、**東北エリア（8人×1か所）**を予定。**皆さん1回ずつは参加**してもらい、先進の事例に触れる機会とするもの。
- ➡具体的な視察先は今後検討。**今年度上半期中の視察を予定。**